

Nature of Kagoshima

**Wildlife & Nature
 Photographs**



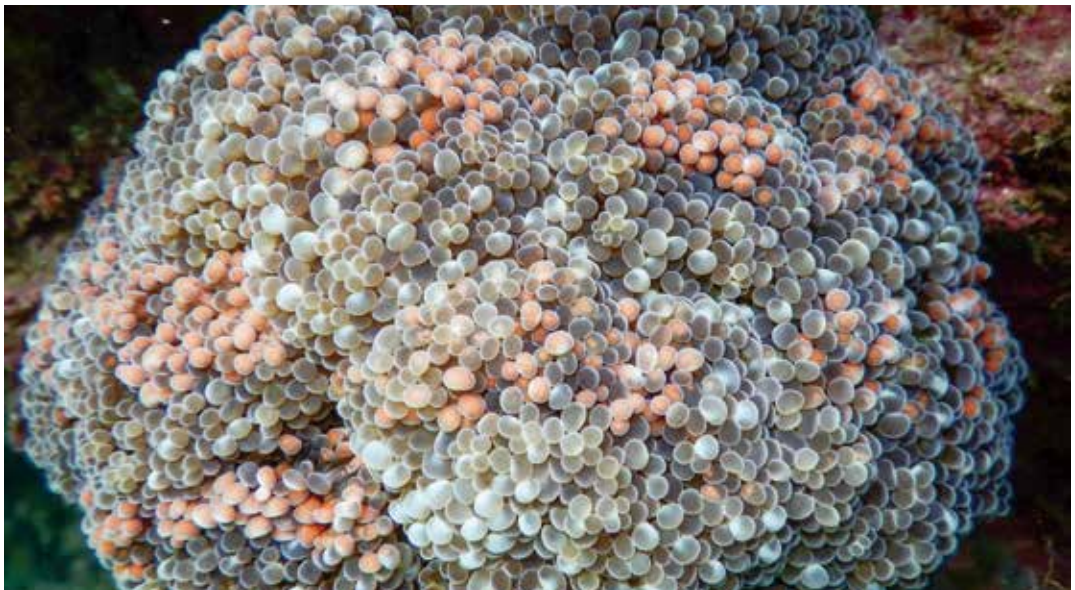
▲ニホンヒキガエル *Bufo japonicus japonicus*

撮影場所：鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦

撮影者：藤田宏之

撮影日：2016年10月30日

解説：本種は人里から山地まで様々な環境に生息し、「ガマガエル」としてもよく知られ、堂々とした大きな身体つきで比較的身近な存在のカエルですが、近年急激に数を減らしている例が日本各地で報告されています。しかし、鹿児島県にはそんなニホンヒキガエルがふつうにみられる島があります。屋久島では海岸近くの人里から、1,500 m 付近の山地の湿地まで繁殖が確認されるなど、多くの個体がみられます。豊富な個体数、そして様々な環境に適応していることから確認されることから、屋久島は「ヒキガエルの聖地」といっても過言ではないでしょう。



▲幼生を保育するハナサンゴモドキ *Euphyllia paraglabrescens*

撮影場所：種子島

撮影者：出羽尚子

撮影日：2016年7月26日

解説：ハナサンゴモドキは種子島海域に固有の造礁サンゴです。2016年7月、幼生を保育している野生のハナサンゴモドキが初めて撮影されました。橙色の部分は幼生が集まっており、触手の中を動き回る様子も確認できます。産み出された幼生はあまり泳ぎ回らず変態後の成長も遅いことから、分散能力が低いと考えられます。2017年に環境省が発表した海洋生物レッドリストでは、絶滅危惧I B類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）に指定されました。近年、生息数の減少が確認されており、保護区域の設定や県の天然記念物への指定などの早急な対応が待たれます。